

Audio Accessory

季刊・オーディオ アクセサリー

クオリティアップを目指す全てのオーディオファンへ！

求める一台が必ず見つかる！

新世代プリメインアンプ&注目スピーカー スクランブルテスト

全ては「脚元」から。その画期的なアイデアを検証
進化型スパイクベース徹底比較



Asako
Motojima/Ish
Yosuke
Yamashita/pfi
Special Sampler
from Melodies of Moment
Recording Producer:
Ryo Nukui
1. 音楽 2. 文化 3. ライフ
音楽と文化と生活

特別付録
二人の巨匠による、
聴いたことのない「日本のうた」
本島阿佐子×山下洋輔
サンプラー CD

Phile
web

AA誌の注目記事は
WEBでも楽しめます！

2017 AUTUMN

166

コストパフォーマンス 追求型連載!



オーディオ工房

炭山太鼓判

～MMカートリッジの愉しみを探る(第二回)～

かつて膨大な数があった廉価なMMカートリッジも、長いアナログ不況を経てすいぶん数を減らした。

しかし、ここ数年のアナログ再ブームを大きな追い風として、

のメーカーから結構な数の新製品が登場するまでになつた。

トランクを離いたが、またまた動き出だす。今度は正面から見えた。

といつぱりで、ラ号はその継承といふ。〔辰田〕

前回は続き
MMカートリッジの実力と
音質的魅力を探求する

トリッジにおける。元締め的存続
だが、金看板のV15シリーズが
生産を完了して久しく、現在はこ
のM97XEが同社ハイファイ・

	SHELTER Model 201 ¥16,000(税別) 取り扱い: (有) シェルター		REGA Elys 2 ¥20,000(税別) 取り扱い: 実業電気(株)		NAGAOKA MP-150 ¥30,000(税別) 取り扱い: (株) ナガオカトレーディング
	Shure M97XE ¥10,000 (予想実売価格 ¥17,000前後) 取り扱い: 実業 電気(株)		Ortofon 2M Blue ¥25,000(税別) 取り扱い: オルト フォンジャパン (株)		audio- technica VM540ML ¥32,000(税別) 取り扱い: (株) オーディオテクニカ

で注意されたい。クラシックは柔らかめだが中高域にキラリと輝く部分があり、それが音楽を上手く引き立てている。レンジ感や切れ味などは程々だが、音楽を割合の濃い味に表現するのは、さすが英國と言わざるを得ない。ジャズはややゆったりめの鳴り方であるが、プラスセクションは結構近く輝かしい。ボップスは声のしつとりとした質感と、意外とよく歌うさまに感動した。物語は投じられなくともさすが英國流だ。

録音現場の音場を感じさせるのがすごい。楽器の音は一本ずつ動き上げられ、それでいて演奏が無間連続する。ボーナスはパワフルでハイスクール、アメリカンな明るさとはまた違う味があり、ジャジーなサウンドを聴かせてくれた。

お次はナガオカMP・150だ。私事ながら、少年時分に本機の類縁というべきジユエルトーンのMP・10-Iを使っていましたことがある。懐かしい顔である。クラシックは音場がすっきりと晴れ渡り、実に抜けが良い。弦は涼やかで響きが美しく、トウフティの厚みを上手く表現しながら満足したり、スピードが鈍つたりすることがない。この抜けの良さはMP発がスピードの特徴であろう。ジャズはハイスピードで抜けが良く、ドラムがスパンと切れ味良く決まる。

管楽器にはわずかにキラッと輝く輝きがあり、それがかえってホーンの生きしさを増していくように感じられる。ボップスは例の輝きが声を引き立て、明るく快節な歌喉を聴かせる。バックもハイスピードで躍進だ。

最後はオーディオテクニカのV.M.540MLを聴こう。同社新シリーズの中核というべき製品である。タクシフクは超高域まですっきりと伸び切れ味良く音場の広さ、深さはかなりのものだ。全体に明るめで、英国の深い森というよりは日本の山を思わせる響きがある。ジャズは明るく輝かしく、快活で超ハイスピードに駆け抜けていくような演奏が面白い。独特の方向性だが、やはり聴いて楽しいのは間違いない。ボップスはドラムスが切れ味鋭く輝かしく、声は生き生きと弾むように歌う個人的には好きな再生音である。

森辺より ~炭山家でのオーディオ生活これ語~

すでにご存じの方も多いいらっしゃるだろうが、中村製作所の中村亮介代表が急逝された。訃報へ接するついで2週間ほど前にも、着製品の企画と着用への展望について話を伺ったばかりだっただけに、私自身のショックも大きいが、ともに歩んでいた業界の人々、取引先、そして誰よりも大切な人を突然失われたご家族の皆さんのお想いと混乱を慮ると、本当にやりきれなくなる。思えば昨年、我が家の再生音をケタ外れに向上了せたのは、中村代表が発表された「アモルメットコア」だった。蝶形の爪ほどのリングコアでなぜこれほど大幅な音質向上が得られるのか、あっけに取られてしまったものだ。他にも、クリーン電源装置やデジタルノイズ・アイソレーター、クリーンDC供給装置など、同社の製品は効果の確かなものばかりだった。争い、残された人たちが代表の遺志を継いで開拓は続けられるという。天国の中村さんが微笑んでくれるよう、私たちもできる範囲でバックアップしていきたい。

Model-201に出場を期む。かつてF.Rで腕を磨き、この分のブランドを立ち上げられた同社の小澤安生代表にとって、現うインアップでは唯一のMM型である。自重6・5g、適正針圧15・2gと失ったところのないペックで、音楽の要所をさりげなく的確に捉えてつかみ出す感じが好ましい。クラシックは当たりが柔らかく、無理な伸びを演出することもない。必要な音域は十分に確保し、何よりその音域内の芳醇さ、潤いたっぷりの表現がたまらない。ジャズは穎やかめの方向だが音の通りが良く、歪み感をかなり減らしてあるのに音の活気を失わないのが素晴らしい。毎日つき合つるカーリングの1本には、ぜひこれくらいの「程よさ」を持つもの要用意したくなる。ボップスは適度に活気があり、適度に緩いグルーブが好ましい。声には人肌の温もりが乗り、そう神経質ではないが、歌い手の情感を上手く描寫する。何だか「日本オーディオの原点」を感じたような気がなつた。次はシェアのM97XEEという。シェアはアメリカのMMカーボ

る。外観も何となくV-15タイプ
Vと似ており、現在入手できる数
少ないローマス／ハイコン型とい
うのもうれしい。シニアというと
「ジャズ向け」というイメージがあ
るが、クラシックもなかなかやる。
しつとりと深みのある弦のレコー
ドがいささか明るく軽やかになる
傾向もあるが、それでもこの明朗
さ、ハキハキと表現する感じは貴
重だ。ジャズはそのキャラクター
がピタリとハマり、パワフルで明
るく生き生きとした表現が実に兼
しい。しかし、同社M-44Gはどう
元気に駆け廻る感じでもなく、過
度な抑制が効いてるのはやはり
「高級機」なればこそか。ボップス
はフュージョン的なピートが切れ
味良く、声は素晴らしい闊達で通
りが良い。思わず聴き惚れてしま
った。なお、先端のブラシはダイ
ナミックスタビライザーといい、
使用時には1ミリ針圧を増すが、音
質にはほとんど影響ない。